

地域まちづくり部会報告概要

(1) 子どもたちの教育について

〔部会意見〕

- ・小学校でしっかりと基礎学力を身につけられる教育体制を作る必要がある
- ・学力の底上げに向けて具体的にどうするのか

〔区の考え方〕

- ・城東区教育会議と連携して取り組む
- ・家庭環境や経済状況によらず、すべての児童生徒が学習習慣を身に着け、学力アップを図ることができるよう、地域やNPO等と連携して学習会等の取組を進める。
- ・小学校については地域と連携した学習会などを、中学校については、NPO等と連携して、学校内での塾代バウチャー制度を活用した夜間学習会や、不登校生徒を対象とした学校外の学習会などの取組を進める予定

(2) いきいき放課後事業の状況と事業を利用した学力アップについて

〔部会意見〕

- ・予算がないということだが、小学生が、1部屋に百何人も入れられ、エアコンが全然効かない状況があるなど健康管理ができていないのではないか
- ・職員の賃金を上げ、職員の数も増やしていただきたい
- ・いきいき放課後事業があり、子どもが放課後学校にいる。そこで宿題をする習慣をつけてはどうか。
- ・本来「いきいき」は学校施設を開放し、子どもが自主的に安全に遊ぶ場を提供するためのものであり、放課後に学習をさせるというならその体制が新たに必要となる。また学習を見てくれるなら、登録人数も増え莫大な予算が必要となるのでは

〔区の考え方〕

- ・児童いきいき放課後事業は、こども青少年局が大阪市教育振興公社へ委託し、学校・地域の協力のもと、全ての児童に安全・安心な放課後の居場所と自主的な学習環境、様々な体験や活動プログラムなどを提供している。
- ・現在「いきいき」登録児童の約 65%が留守家庭児童であり、実質的に留守家庭児童の居場所としても機能している。
- ・「いきいき」活動で使用する学校施設は、活動室を中心に、多目的室や運動場・校庭、図書室、特別教室など学校の許可を得て使用している。特に、夏季は、参加児童の健康保持等の観点から冷房設備のある活動場所の確保することとしている。
- ・子ども青少年局には子どもの健康を第一に職員配置や賃金など適切な事業の実施がなされるよう要請する。
- ・学力の向上の取組については「戦略 2-4 子どもたちの豊な心、確かな学力を育むまちづくり」として学習会のモデル実施などに取組む

(3) 子どもの見守りについて

〔部会意見〕

- ・ボランティアが高齢になっている
- ・見守りを強化するため予算を組んでほしい
- ・子どものことは地域が学校と一体になってやらないといけない

〔区の考え方〕

- ・見守り活動は、地域、学校、PTAが一体となって取り組むことが重要
- ・区役所は、子ども見守り活動に対する直接的な関与は行っていないが、見守り活動参加者の「ボランティア保険」への加入など後方支援を行っている
- ・地域には、地域活動協議会に補助金を交付している。地域防犯活動には地域の皆さんと協働して取り組みたい。

※その他の部会意見

- ・教育の地域連携、環境対策、自転車道の設置、信頼される区役所づくりなど